

研修会レポート

平成31年1月16日（水） 19:00～20:30

研修委員 山口由弥

*特別講演 『耳鼻科クリニックの診療の中身』

まるべりー耳鼻科 院長 桑畑直史 先生

【のどの疾患】

息苦しいか、水分が摂れるかが、対応のポイントとなる。

つばがのむと痛い、あおむけで息苦しいなど⇒扁桃周囲炎・扁桃周囲腫瘍の可能性。重症の事例だと、息が吸えなくなる喉頭蓋炎の場合もある。そのため、耳鼻科への受診がすすめられる。

首のリンパ節の腫れが心配で受診される方も多い。注意の目安は、腫れが10mm以上、増大傾向の場合。

【鼻の疾患】

慢性副鼻腔炎：細菌が原因 抗生剤の投与や、手術が適応となる

好中球性副鼻腔炎：アレルギー的。副鼻腔炎のうち30%くらい。ステロイドで緩和しやすい。

鼻血について：95%くらいが、鼻の入り口から1～2cmくらいのキーゼルバツハ部位が傷ついていることによるもの。下を向いて鼻翼を広くつまむと止血できる。

【耳の疾患】

外耳炎：耳掃除、ひっかき傷によるものが多い。綿棒等での耳掃除が原因になっていることも多く、耳掃除はおすすめしない。

先天性耳瘻孔：うまれつき、耳の近くにあるくぼみ、穴。炎症や化膿を繰り返す場合は手術

中耳炎は大きく4つに分類

・急性中耳炎：耳の痛み、発熱、耳だれ。細菌が原因。抗菌薬の使用、重症化すると鼓膜切開が必要に。鼓膜切開は、痛みは一瞬で、2mmくらいの穴をあける手術。穴は1週間ではぼふさがる。

・滲出性中耳炎：耳の聞こえが悪い。痛みはない。鼓膜の奥に浸出液が貯留している状態。ムコダインが唯一適応。

・慢性穿孔性中耳炎：昔の急性中耳炎が治らなかったもの。鼓膜の穴が閉鎖せず、感染しやすい状態。抗菌薬を使用。

・真珠腫性中耳炎：鼓膜がへこむ、カスが溜まり。周囲の骨を破壊していく。

音響外傷：高い音（4000Hz）の聞こえが悪い。大きい音を聞いた、加齢の影響。

低音障害難聴：音がこもった感じ。低音が聞こえにくい。内耳の中でのリンパ液の流れが滞った状態。内耳のむくみが原因。イソバイドがよく効く。睡眠不足やストレスの解消が必要

【めまいについて】

ストレス⇒報われぬ→発散できない→発症

良性発作性頭位めまい症（BPPV）が60%くらい 10～20秒で収まるもの。薬物治療はほとんど効果がなく、軽い運動がすすめられる。

メニエール病：よく聞く疾患だが頻度は多くない。耳鳴り＋15分以上継続のめまい

【アレルギー性鼻炎について】

アレルゲンから離れる：マスクなど

抗ヒスタミン薬：運転する方には眠気の出にくいもの。

シダトレン免疫療法：アナフィラキシーの注意もあるので、かかりつけ薬局と連携を取りながら慎重に行っている。